人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邉曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

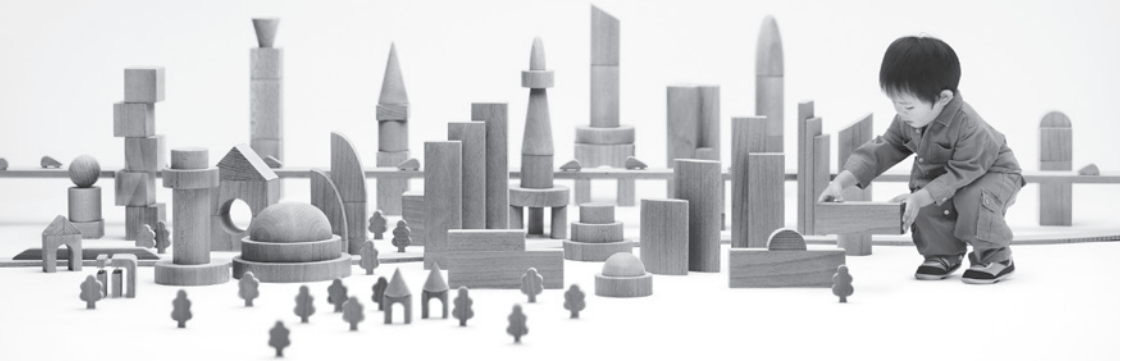
第749回
東京定期演奏会

サントリーホール
2023年4月28日(金)19:00
4月29日(土)14:00

2023
4
APR

日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

©山口 敦

CONTENTS
目 次

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 神部 智 - 10
- 《クレルヴォ交響曲》歌詞対訳 13
- ピエタリ・インキネン氏 2008年からの軌跡 22
- 写真プレイバック- 2023年2月3月 - 26
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 27
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 31
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 32
- パトロネージュご芳名 36
- 日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名 38
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 39
- 次回東京定期演奏会 40
- インフォメーション 42
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 43

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 749th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第749回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall	2023年4月28日(金)午後7時開演／29日(土)午後2時開演
	7:00p.m. 28th (Fri.) & 2:00p.m. 29th (Sat.), April 2023

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**
協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**
後　　援 ／ フィンランド大使館

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア
表紙イラスト ／ 小澤 一雄

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

感染防止策にご協力をお願いいたします。

詳しくはこちらをご覧ください▶

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

シベリウス：《クレルヴォ交響曲》op.7　約72分
Jean SIBELIUS: Kullervo, op.7

休憩はございません。予めご了承ください。

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］
Conductor: Pietari INKINEN, Chief Conductor

ソプラノ：ヨハンナ・ルサネン
Soprano: Johanna RUSANEN

バリトン：ヴィッレ・ルサネン
Baritone: Ville RUSANEN

男声合唱：ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学
Male Chorus: YL Male Voice Choir, Tokyo College of Music

コンサートマスター：扇谷 泰朋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を

■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

©Kaupo Kikkas

Conductor 指揮

ピエタリ・インキネン
［首席指揮者］

Pietari INKINEN, Chief Conductor

世界各地で活躍の場を広げ注目を集めるインキネン。ザールブリュッケン・カイザースラウテルンドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者を務める。日本フィルにおける任期は2023年夏まで。2022年1月より韓国のKBS交響楽団音楽監督に3年間の任期で就任。

2019年1月にプラハ響を率いて3週間の日本公演を行い、4月には日本フィルと共にフィンランド、ドイツ、オーストリア、英国への13年ぶりのヨーロッパツアーを実現。この時、日本とフィンランドの国交100周年を記念し、ヘルシンキとインキネンの故郷コウヴォラも訪れた。

ワーグナーの音楽はインキネンの活動の紛れもない中心であり、2020年夏のバイロイトでヴァレンティン・シュヴァルツ演出の《指環》全曲の新プロダクションを指揮すべく招待されたが、コロナ禍により中止となり、21年は「ワルキューレ」を指揮した。今年はいよいよ《指環》全曲を指揮予定。

客員指揮者として、コンセルトヘボウ管、北ドイツ放響、ベルリン・シュターツカペレ、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、ロサンゼルス・フィル、イスラエル・フィル、バイエルン放響、バーミンガム市響、ヘルシンキ・フィル、スウェーデン放響、オスロ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管等と共演。

オペラではフィンランド国立歌劇場、ブリュッセルのモネ劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場に出演。ドレスデン国立歌劇場では、大成功した新プロダクションの《エフゲニー・オネーギン》を数回指揮している。

これまでに、2015年から2020年までプラハ交響楽団の首席指揮者、2008年から2016年までニュージーランド交響楽団の音楽監督を務め、現在は名誉指揮者の称号を持つ。

ヴァイオリニストの一面も持ち、ケルン音楽大学でザハール・ブロンに師事し、ヘルシンキのシベリウス・アカデミーでさらに指揮を学び始めるまでに、ソロ活動で様々な賞を受賞している。現在も、弾き振りや常連の音楽仲間との室内楽演奏を楽しむ。

Soprano ソプラノ

ヨハンナ・ルサネン
Johanna RUSANEN

フィンランド出身のソプラノ。ヘルシンキのシベリウス・アカデミーに学ぶ。1998年から2年間、ベルリン・ドイツ・オペラの育成プログラムで研鑽を積む。

並外れた声の柔軟性やテクニックで、オペラや演奏会、歌曲でも活躍し、1997年のデビュー以降、2013年フィンランド国立歌劇場でプッチーニ《トゥーランドット》タイトルロール、2016年同歌劇場でワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》イゾルデ、2022年にはワーグナーの《ニーベルングの指環》ブリュンヒルデをそれぞれ初めて歌っている。

また、サヴォンリンナ・オペラ・フェスティバルのソリストとしても定期的に出演しており、最近ではコッコネンの《最後の誘惑》リータ、サリネンの《騎手》アンナ、《赤い線》リイカなど、フィンランド・オペラで強い女性を演じ、好評を博している。

また、チャイコフスキー《エフゲニー・オネーギン》タチヤーナ、ベルク《ヴォツェック》マリー、ヴェルディ《仮面舞踏会》アメリア、R.シュトラウス《エレクトラ》クリソテミスなど幅広い役柄を演じている。

シベリウスの《クレルヴォ交響曲》は世界各地で歌っている彼女の得意曲である。

2021年にフィンランド獅子勲章のプロ・フィンランディア・メダルを授与されている。

Baritone バリトン

ヴィッレ・ルサネン

Ville RUSANEN

フィンランド出身のバリトン。ヘルシンキ・アカデミーで学び、2004年ラッペーンランタ国際声楽コンクールの男声部門で優勝。

2014年にサヴォンリンナ・オペラ・フェスティバルのアーティスト・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、以来サヴォンリンナの舞台で定期的に公演を行っており、サッリネンの《クレルヴォ》タイトルロールやロッシーニの《セヴィリアの理髪師》に出演、2023年には再びサヴォンリンナに登場する予定である。

これまでにスカラ座（イタリア）、リヨン国立歌劇場（フランス）、英国スコティッシュ・オペラなどに出演、また、シドニー交響楽団、ボルドー・アキテーヌ国立管弦楽団、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、RTÉ国立交響楽団などと共演している。

フィンランド国立歌劇場の常連で、ドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》ペレアス役、クーシストの《氷》ペッター・クンメル役、ヤナーチェクの《利口な女狐の物語》フォレスター役、アンドリュー・ロイド・ウェバー《オペラ座の怪人》タイトルロールなど、多くの役をこなしている。最近では2022年にブリテンの《ビリー・バッド》タイトルロールを演じた。

シベリウスの《クレルヴォ交響曲》はシドニー交響楽団（アシュケナージ指揮）や、RTÉ国立交響楽団などで歌っている。

Male Chorus 男声合唱

ヘルシンキ大学男声合唱団

YL Male Voice Choir

（合唱指揮：パシ・ヒヨッキ）

1883年スウェーデン語が公用語であった時代に創設。フィンランド語歌唱によるもっとも古い声楽団体で、シベリウスをはじめとする多くの作曲家が作品を献呈。1930年代から音楽使節として欧州、北米、アジア等にツアーを行い、78年ＢＢＣ声楽、84年第1回シューベルト国際各コンクール受賞。

ラハティ交響楽団と共演したＣＤアルバムでは、2001年グラモフォン賞、02年カンヌ・クラシカル賞各受賞。歴代指揮者には、初代のハンニカイネン以来クレメッティ、パルムグレン、トゥルネン、ポヒョラ、ペルトラ等フィンランド音楽界の名匠たちが名を連ねている。タンゴからクリスマス・ソングまで幅広いレパートリーを持ち、特にフィンランド作品に関して230曲以上の録音を実施、同国を世界有数の合唱王国へ押し上げた実績は大きい。2003年の来日公演ではフィンランド・ラハティ交響楽団との《クレルヴォ交響曲》の演奏が絶賛を博し、同年の音楽の友ベストコンサートに選出された。

Male Chorus 男声合唱

東京音楽大学

Tokyo College of Music

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。

日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。2020年以降の共演においては感染症対策に伴い合唱団の人数が大幅に制限される中、同楽団と今までにない「第九」の歓喜を表現することができた。

他に2018年11月にサンクトペテルブルクフィルハーモニー交響楽団《イワン雷帝》、2019年11月にNHK音楽祭「シンフォニック・ゲーマーズ4」、2021年6月に「めぐろで第九2020+1」、2022年8月に「フェスタサマーミューザKAWASAKI 2022」に出演。

合唱指導は2022年度より、志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えた。

プログラム・ノート 解説：神部 智

◆ シベリウス：《クレルヴォ交響曲》op.7

フィンランドの民族叙事詩『カレワラ』のクレルヴォ神話（第31～36章）を題材としたジャン・シベリウス（1865-1957）の《クレルヴォ》作品7は、彼の初期創作期を代表する大規模な管弦楽曲である。全5楽章、演奏時間70分あまりの超大作であり、管弦楽と男声合唱のほか、クレルヴォ役のバリトンと妹役のメゾソプラノを要する。

ベートーヴェンの交響曲第9番にも匹敵する巨大な交響曲の創作を目指した青年時代のシベリウス。彼が《クレルヴォ》の着想を得たのは、ウィーン留学時の1891年である。ウィーン留学中、シベリウスは婚約者のアイノ・ヤーネフェルト（1871-1969）と頻繁に手紙を交わしているが、熱烈な「フェンノマン」（当時のフィンランドで支配的だったスウェーデン語文化に対し、フィンランド語文化の向上を目指した人々）だった彼女の存在が、《クレルヴォ》の構想に大きな影響を与えたことは間違いない。その創作に着手した頃、シベリウスは『カレワラ』の神話世界に完全に魂を奪われてしまったような状況で、ウィーン近郊の森を散策しながら作品のイメージを少しずつふくらませていった。

フィンランド帰国後、シベリウスはアイノとの関係を深めながら、《クレルヴォ》の創作に本腰を入れ始める。困難をきたした作曲にはおよそ一年の歳月を要した。その間、イングリア（フィンランド湾とラドガ湖の狭間のサンクトペテルブルクを中心とした地域）出身の有名な歌い手、ラリン・パラスケ（1833-1904）の吟唱に触れている点は注目される。いわゆる「カレワラ歌謡」の真正な歌声を耳にしたシベリウスは激しくショックを受け、その体験が《クレルヴォ》の創作にも計り知れない刺激を与えたという。

楽章数を削減（当初の構想では6楽章構成）するなど、さまざまな試行錯誤を繰り返したため《クレルヴォ》の完成は予定より遅れ、1892年4月28日にようやく初演を迎えることになる。ただし、その日ヘルシンキ大学講堂に集まった満員の聴衆が手にしたプログラムには、《クレルヴォ、管弦楽、独唱、合唱のための交響詩》と記されていた。もともと交響曲として作曲されたものの、初演の際に急きょ交響詩へとジャンル名が変更された背景には、伝統的な交響曲に対するシベリウスのジレンマ、あるいはコンプレックスがあった。また従来の交響曲の図式を大きく超えてしまったことも、変更の要因の一つと考えられる。

いずれにせよ《クレルヴォ》の初演は歴史的な大成功を収め、シベリウスは一躍フィンランド音楽界のスターダムにのし上がった。物理的規模でいえば、この作品はシベリウスの管弦楽曲の中で最も長大であり、しかも重厚で記念碑的な趣きさえ湛えている。とりわけ注目されるのは、この作品でシベリウスが初めて「自らの響き」を見出したことであろう。その響きは、もはや駆け出しの若者とは思えないほど素晴らしい奥行きを示している。わずか一年の創作期間で、《クレルヴォ》という作品にこれほどまでの充実がもたらされた理由は何だろうか。これまで取り組んできた地道な学修や留学の成果はその一因だろうし、パラスケの突き抜けた歌声、あるいはクレルヴォ神話の普遍的な悲劇性がシベリウスの創作に強烈なインスピレーションを与えたと考えられる。だが最たる要因として指摘すべきは、婚約者アイノの存在であった。シベリウスとアイノの当時の関係はまさに特別であり、《クレルヴォ》の創作は両者の共同作業といってよいほど親密なものだったからである。

したがって作品はアイノに献呈されたとしてもまったく不思議ではないのだが、シベリウスはそうしなかった。それどころか、彼は《クレルヴォ》に対して驚くべき行動を起こす。コンサートで数回取り上げられた後、作曲者の存命中は作品の出版だけでなく、再演さえ原則的に禁じてしまうのである。その理由についてシベリウスは明言を避けているため、色々と推測されてきた。実は作曲者自身が曲の出来栄えに不満を抱いていたのではないか、初演時こそ大成功を収めたがその後はあまり高い評価を得られず悩んでいた、フィンランド語の歌詞が国際的レパートリーの妨げになると考えたに違いない、「カレワラ歌謡」の影響が露骨とみなされるのを恐れたからだ、等々がそれである。おそらくさまざまな要因が絡み合った結果、作品の封印という重大な決断が導き出されたのだろう。

とはいえシベリウスによる《クレルヴォ》の「封印」は、決して作品自体の「否定」ではない。実際1911年から1913年頃にかけて、シベリウスは《クレルヴォ》の改訂を試みようとした。残念ながらこの仕事は実現しなかったが、そもそも作曲者が作品に否定的評価を与えていたなら改訂ではなく、幻の交響曲第8番のようにそれを燃やしてしまったに違いない。さらに最晩年に至ってもなお、シベリウスが《クレルヴォ》に対して格別の愛着を持っていたことは、彼の次の言葉からもうかがえる。「私はこの若書きの作品に、今でも特別な思いを抱いています。おそらくこの思いこそ、《クレルヴォ》の精神世界から遠く離れてしまった時代に、国外でそれが演奏されることを私が心配する理由なのです。《クレルヴォ》は潜在的な欠点を持っているでしょう。しかし少なくとも私は、その歴史的価値を認識しています。はたして現代の聴衆は、この作品を正しく理解してくれるでしょうか」（アメリカの音楽評論家オリン・

ダウンズ宛の手紙、1950年9月5日付）。

ちなみに《クレルヴォ》全曲の蘇演は、シベリウス没後の1958年6月12日、作曲者の女婿ユッシ・ヤラス（1908-1985）の指揮で行われている。さらに1970年、フィンランドの名指揮者パーヴォ・ベルグルンド（1929-2012）がボーンマス交響楽団と共に世界初録音を行うと、《クレルヴォ》は初期シベリウスの重要な管弦楽曲として再認識され始め、世界中で広く取り上げられるようになった。

《クレルヴォ》の各楽章の概要は以下の通り。『カレワラ』のクレルヴォ神話は、超人的な力を持つ青年クレルヴォの成長と恋愛、実の妹との近親相姦、自分を不遇に陥れた者たちへの復讐、悔恨の念による自決までを描いた壮大な悲劇である。

〈導入〉：大規模なソナタ形式で、曲全体に漂う神話的世界、その壮大な音調を創出している。冒頭の長大な旋律が印象的だが、再現部における副次主題の力強い成長も構成上のポイント。シベリウスの優れた構成感覚を存分に堪能できる。

〈クレルヴォの青春〉：2つの対照的な領域が交互に現われる構成。作曲技法的には、短小フレーズに微細な変化を加えつつ何度も繰り返す方法が取られているが、それは民謡の素朴な変奏手法を思わせる。

〈クレルヴォとその妹〉：作品全体の中軸を成す長大な楽章。男声合唱と2人のソリストを伴いながら、物語が緻密に展開していく。生き別れになった兄妹の「近親相姦」にスポットが当てられるが、タブー視されてきた近親相姦という限界状況にあえて着目している点がシベリウスの《クレルヴォ》の最たる芸術的特徴である。曲は大きく2つの部分に分けられ、前半はクレルヴォと妹の運命的な出会い、後半は男女の関係を持ってしまった兄妹の内的葛藤が描かれる。

〈戦闘に赴くクレルヴォ〉：ロンド・ソナタ形式風の構成。クレルヴォの残忍な復讐劇が取り上げられるが、曲調は不気味なほど平明である。

〈クレルヴォの死〉：再び〈導入〉の楽想が回想され、苦悩の末に自害を選択するクレルヴォの悲劇が男声合唱とともに荘厳に奏でられる。

楽器編成：ソプラノ独唱、バリトン独唱、男声合唱、フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2（バス・クラリネット持替1）、ファゴット、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦楽5部。

歌詞対訳 ←→ 訳：神部 智

Jean Sibelius, Kullervo, op. 7

III Kullervo ja hänen sisarensa

〈Kuoro〉

Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
hivus keltainen korea,
kengän kauto kaunokainen,
läksi viemähän vetoja,
maajyviä maksamahan.

Vietyä vetoperänsä,
maajyväset maksettua
rekehensä reutoaikse,
kohennaikse korjahansa.
Alkoi kulkea kotihin,
matkata omille maille.

Ajoa järyttelevi,
matkoansa mittelevi
noilla Väinön kankahilla,
ammoin raatuilla ahoilla.

Neiti vastahan tulevi,
hivus kulta hiihtelevi
noilla Vaïnon kankahilla,
ammoin raatuilla ahoilla.

Kullervo, Kalervon poika,
jo tuossa piättelevi,
alkoi neittä haastatella,
haastatella, houkutella:

ジャン・シベリウス《クレルヴォ交響曲》op.7

III クレルヴォとその妹

〈合唱〉

クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
美しい黄色の髪をして
見事な革の靴を履き
税を納めに出かけた
穀物税を納めに

税を収めた後
穀物税を収めた後で
橇に荒々しく飛び乗った
橇の上に立って
家へと向かい始めた
自分の土地へと旅立った

橇を荒々しく走らせた
旅を続けた
ヴァイノの荒野を越えて
その昔、耕した野を越えて

ある時、一人の娘に出会った
金色の髪をなびかせた娘に
ヴァイノの荒野を越えて
その昔、耕した野を越えて

クレルヴォ、カレルヴォの息子は
そこで橇を止め
娘に向かって話しかけた
話しかけて誘った

〈Kullervo〉
Nouse, neito korjahani,
taaksi maata taljoilleni!

〈Neito I 〉
Surma sulle korjahasi,
tauti taaksi taljoillesi!

〈Kuoro〉
Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
iski virkkua vitsalla,
helähytti helmivyöllä.
Virkku juoksi, matka joutui,
tie vieri, reki rasasi.

Neiti vastahan tulevi,
kautokenkä kaaloavi
selvällä meren selällä,
ulapalla aukealla.

Kullervo, Kalervon poika,
hevoista piättelevi,
suutansa sovittelevi,
sanojansa säätelevi:

〈Kullervo〉
Tule korjahan, korea,
maan valio, matkoihini!

〈クレルヴォ〉
お乗りなさい、娘さん、この橇に
中の毛皮の上で休みなさい！

〈第一の娘〉
死があなたの橇の中へ
病がその毛皮の上に！

〈合唱〉
クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
駿馬を鞭打った
玉飾りの鞭をふるった
馬は駆け抜け、旅ははかどり
橇は揺れ、さらに道は進んだ

ある時、一人の娘に出会った
革の靴で歩いている娘に
海の向こうへと
開けた水の上を

クレルヴォ、カレルヴォの息子
そこで馬を止めて
口を開くと
次のように語りかけた

〈クレルヴォ〉
この橇にお乗りなさい、美しい娘さん
国一番の美人よ、一緒に旅をしよう！

〈Neito II 〉
Tuoni sulle korjahasi,
Manalainen matkoihisi!

〈Kuoro〉
Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
iski virkkua vitsalla,
helähytti helmivyöllä.
Virkku juoksi, matka joutui,
reki vieri, tie lyheni.

Neiti vastahan tulevi,
tinarinta riioavi
noilla Pohjan kankahilla,
Lapin laajoilla rajoilla.

Kullervo, Kalervon poika,
hevoistansa hillitsevi,
suutansa sovittelevi,
sanojansa säätelevi:

〈Kullervo〉
Käy, neito rekoseheni,
armas, alle vilttieni,
syömähän omeniani,
puremahan päähkeniä!

〈Sisar〉
Sylen, kehno, kelkkahasi,
retkale, rekosehesi!
Vilu on olla viltin alla,
kolkko korjassa eleä.

〈第二の娘〉
トゥオニ（死）があなたの橇の中へ
死があなたと一緒に旅をせよ！

〈合唱〉
クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
駿馬を鞭打った
玉飾りの鞭をふるった
馬は駆け抜け、旅ははかどり
橇は揺れ、さらに道は進んだ

ある時、一人の娘に出会った
錫（すず）のブローチを付けた娘は急いでいた
ポヒョラの荒野の上を
ラップの広大な辺境を

クレルヴォ、カレルヴォの息子は
そこで馬を止めて
口を開くと
次のように語りかけた

〈クレルヴォ〉
お乗りなさい、娘さん、この橇へ
可愛い娘よ、この毛皮の下へ
私のリンゴを食べに
木の実を味わいに！

〈妹〉
悪人め、唾してやるわ、あなたの橇に
荒くれ者め、その橇に！
冷たいでしょう、その毛皮の下は
暗闇でしょう、その橇の中は

〈Kuoro〉
Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
koppoi neion korjahansa,
reualti rekosehensa,
asetteli taljoillensa,
alle viltin vierietteli.

〈Sisar〉
Päästä pois minua tästä,
laske lasta vallallensa
kunnotointa kuulemasta,
pahalaista palvomasta,
tahi potkin pohjan puhki,
levittelen liistehesi,
korjasi pilastehiksi,
rämäksi re'en retukan!

〈Kuoro〉
Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
aukaisi rahaisen arkun,
kimahutti kirjakannen;
näytteli hope'itansa,
verkaliuskoja levitteli,
kultasuita sukkasia,
vöitänsä hopeapäitä.

Verat veivät neien mielen,
raha muutti morsiamen,
hopea hukuttelevi,
kulta kuihauttelevi.

〈合唱〉
クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
娘を引きずり込んだ、橇の中へ
橇の中へと、娘を引っぱり込んだ
毛皮の上へ押し倒し
覆いの下へと押し込んだ

〈妹〉
私をここから出して
自由にさせて
聞きたくないわ
汚れた邪悪な言葉は
そうでないと橇の底を蹴って
橇の裂け目を広げて
この橇を破片にしてやるわ
橇を微塵にしてやるわ!

〈合唱〉
クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
積んでいた宝の箱を開けた
音を立てながら装飾のある蓋を
そして娘に見せた、中の銀を
広げて見せた、選び抜かれた布地を
金の縁取りのある靴下を
銀の飾りのある帯を

布地は娘の心を揺るがせ
お金は花嫁の気持ちを変えた
銀が彼女を破滅させ
金が彼女を惑わせた

〈Sisar〉
Mist'olet sinä sukuisin,
kusta, rohkea, rotuisin?
Lienet suurtaki sukua,
isoa isän aloa.

〈Kullervo〉
En ole sukua suurta,
enkä suurta enkä pientä,
olen kerran keskimmäistä:
Kalervon katala poioka,
tuhma poika tuiretuinen,
lapsi kehjo keiretyinen.
Vaan sano oma sukusi,
oma rohkea rotusi,
jos olet sukua suurta,
isoa isän aloa!

〈Sisar〉
En ole sukua suurta,
enkä suurta enkä pientä,
olen kerran keskimmäistä:
Kalervon katala tyttö,
tyhjä tyttö tuiretuinen,
lapsi kehjo keiretyinen.

〈妹〉
お話し下さい、あなたの家系のことを
勇敢な人よ、どんな家柄なのですか?
繋がっているのでしょうね
立派な祖先と

〈クレルヴォ〉
私の家柄は大したことない
偉大でも、卑小でもない
ちょうど中流の家柄だ
カレルヴォのつまらない息子だ
愚かで無能な子で
何の取り柄もない息子さ
話しておくれ、君の家柄のことを
君の勇敢な素性を
繋がっているのではないか
立派な祖先と!

〈妹〉
私の家柄は大したことありません
偉大でも、卑小でもありません
ちょうど中流の家柄です
カレルヴォのつまらない娘です
愚かで無能な子で
何の取り柄もない娘です

Ennen lasna ollessani
emon ehtoisen eloilla,
läksin marjahan metsälle,
alle vaaran vaapukkahan.
Poimin maalta mansikoita,
alta vaaran vaapukoita;
poimin päivän, yön lepäsin.
Poimin päivän, poimen toisen;
päivälläpä kolmannella
en tiennyt kotihin tietä:
tiehyt metsähän veteli,
ura saateli salolle.

私がまだ幼かった頃
やさしい母と一緒に暮らしていました
森へ木いちごを摘みに行き
山の麓で木いちごを探し
野原で木いちごを集めました
山の麓で木いちごを摘んで
昼間に摘み、夜に休みました
昼間に摘み、次の日も同じで
三日目も同じようにすると
私は家路が分からなくなりました
道は森の中へ私を導き
小道は私を森へと連れ込んだのです

Siinä istuin, jotta itkin,
Itkin päivän, jotta toisen;
päivänäpä kolmantena
nousin suurelle mäelle,
korkealle kukkulalle.
Tuossa huusin, hoilaelin.
Salot vastahan saneli,
kankahat kajahtelivat:
“Elä huua, hullu tyttö,
elä mieletöin, melua!
Ei se kuulu kumminkana,
ei kuulu kotihin huuto!”

そこに座り、私は泣きました
一日泣き、そして二日目
三日目までずっと泣いてから
私は大きな山に登りました
高い山の頂上に
そこで私は呼んで叫んだのです
森は応えて言いました
荒野も同じようにとどろいたのです
「呼ぶでない、狂気の娘よ
叫ぶでない、愚かな娘よ！
それを聞く者は誰もおらぬ
故郷にその叫びは届くまい」

Päivän päästä kolmen, neljän,
Viien, kuuen viimeistäki
kohenihin kuolemahan,
heitihin katoamahan.
Enkä kuollut kuitenkana,
en mä kalkinen kaonnut!
Oisin kuollut, kuja raukka,

そして三日、四日経ち
ついには五日、六日となって
私は死ぬ覚悟をし
身投げをしたのです
けれど死ぬことはできませんでした
身を滅ぼすことができなかったのです！
もし死ぬことができていたら、哀れな娘が

oisin katkennut, katala,
äsken tuosta toisna vuonna,
kohta kolmanna kesänä
oisin heinänä helynnyt,
kukoistellut kukkapäänä,
maassa marjana hyvänä,
punaisena puolukkana,
nämä kummat kuulematta,
haikeat havaitsematta.

身を滅ぼすことができていたら、不幸な者が
その二年後の
三度目の夏の日には
草となって輝いて
美しい花となったでしょうに
地面で上等な木いちごに
真赤なこけももになれたでしょうに
だったら、こんな恐ろしいことは聞かず
こんなおぞましいことを知ることもなかっ
たのに

〈Kullervo〉
Voi, poloinen, päiviäni,
voipa, kurja, kummiani,
voi, kun pi’in sisarueni,
turmelin emoni tuoman!
Voi isoni, voi emoni,
voi on valtavanhempani!
Minnekä minut loitte,
kunne kannoitte katalan?
Parempi olisi ollut
Syntymättä, kasvamatta,
ilmahan sikeämättä,
maalle tälle täytymättä.
Eikä surma suorin tehnyt,
tauti oike’in osannut,
kun ei tappanu minua,
kaottanut kaksiöisnä.

〈クレルヴォ〉
ああ惨めなわが身、わが日々よ
ああ哀れな、恐ろしいことよ
わが実の妹を
母の子を犯してしまったとは！
ああ父よ、ああ母よ
ああ、わが両親よ！
どうして私を産んだのか
不幸な者をどこへ導こうとするのか？
ずっと良かっただろう
生まれ、育つことがなかったら
この世に生まれることがなかったら
この世に出て行くことがなかったら
死は私を正しく扱わなかった
病も私を正しく遇しなかった
私を滅ぼさなかったのだから
生まれて二日経った時に

V Kullervon kuolema

〈Kuoro〉
Kullervo, Kalervon poika,
otti koiransa keralle,
läksi tietä telkkimähän,
korpehen kohoamahan,
Kävi matkoa vähäisen,
astui tietä pikkaraisen;
tuli tuolle saarekselle,
tuolle paikalle tapahtui,
kuss'oli piian pillannunna,
turmellut emonsa tuoman.

Siin'itki ihana nurmi,
aho armahin valitti,
nuoret heinät helliteli,
kuikutti kukat kanervan
tuota piian pillamusta,
emon tuoman turmelusta:
eikä nousnut nuori heinä,
kasvanut kanervan kukka,
ylennyt sijalla sillä,
tuolla paikalla pahalla,
kuss'oli piian pillannunna,
emon tuoman turmellunna.

Kullervo, Kalervon poika,
tempasi terävän miekan;
katselevi, kääntelevi,
Kyselevi, tietelevi,

V クレルヴォの死

〈合唱〉
クレルヴォ、カレルヴォの息子は
犬を引き連れ
道を辿って行った
荒野へと登って行った
わずかにさまよい
少しだけ進むと
森の片隅にたどり着いた
その場所はかつて
彼が乙女を誘惑し
母の子を破滅させてしまったところ

そこでは穏やかな草々が泣き
美しい野が嘆いていた
若草は悲しみにくれ
荒野の花々は悲嘆していた
あの乙女の破滅を
母の子の死を
そこでは若草が育たず
荒野の花々は咲かなかった
ここには何も生えぬ
忌まわしきこの場所には
彼が乙女を誘惑し
母の子を破滅させてしまったところには

クレルヴォ、カレルヴォの息子は
鋭い剣を引き抜くと
裏表にして眺め
尋ねて聞いた

Kysyi mieltä miekaltansa,
tokko tuon tekisi mieli
syoä syylistä lihoa,
viallista verta juoa.

Miekka mietti miehen mielen,
arvasi uron pakinan,
Vastasi sanalla tuolla:
"Miks'en söisi mielelläni,
söisi syylistä lihoa,
viallista verta joisi?
Syön lihoa syyttömänki,
juon verta viattomanki."

Kullervo, Kalervon poika,
sinisukka äijön lapsi,
pään on peltohon sysäsi,
perän painoi kankahasen,
kären käänti rintahansa,
itse iskihe kärelle.
Siihen surmansa sukesi,
kuolemansa kohtaeli.

Se oli surma nuoren miehen,
kuolo Kullervo urohon,
loppu ainakin urosta,
kuolema kovaosaista.

その剣がどう思うかを
自分を滅ぼす気があるかと
罪深い肉体を貪る気が
邪悪な血を啜る気があるかと

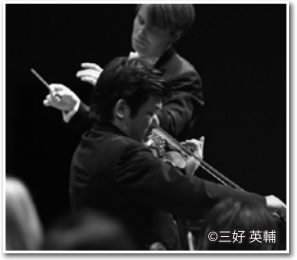
剣は彼の意味を理解した
勇士の問いかけを理解した
そして答えた
「喜びでないはずがあろうか
罪深い肉を貪り
邪悪な血を啜ることが？
私は罪のない肉を貪り
汚れていない血を啜ってきたのだから」

クレルヴォ、カレルヴォの息子
いと青き靴下の老いた子は
剣の柄を地面に押し当て
荒地に柄をしっかり押し込むと
刃先を自分の胸に向け
その身を剣に刺し込んだ
かくして彼は自死を遂げた
望み通りの死を

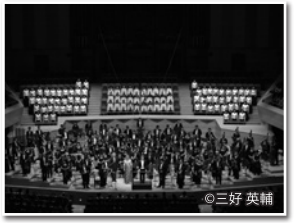
このように若者は自決した
勇士クレルヴォは死んだ
これが英雄の最後
悲運な者の死に方であった

ピエタリ・インキネン2008年からの軌跡

1 2008年4月、初共演!



2 初共演の次はすぐに首席客演指揮者就任披露演奏会でした。同門の樫本大進と共演。そしてそのリハーサルには、ダニエル・バレンボイムの姿が……2009年9月。



3 2010年から2015年は「マーラー撰集」!第2回は3番。そして第3回公演終了後のバックステージでコンサートマスターの扇谷泰朋と

4 出番前に身だしなみを整えて……

5 2013年の「シベリウス・ツィクルス」!リハーサルに臨みます

6 2013年9月東京定期演奏会ではワーグナーの《ワルキューレ》より第1幕他を。お客様からの大絶賛をいただきました。

7 2014年の九州公演に登場したインキネン。ピアノの前に座ったり、ヴァイオリンを弾いたり.....
実は2013年9月に来日していた時に、福岡のガイドブックを片手に予習していました

8 2015年4月、2016年9月から首席指揮者に就任することを発表しました

9 正指揮者山田和樹（当時）と初対面!

10 撮影の間に茶道を体験

11 2015年11月には、J.S.バッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲でヴァイオリンを披露

12 2016年9月、首席指揮者就任

13 2017年4月5月は「ブラームス・ツィクルス」を。第1回の東京定期ではプレトークにも登場

14 2017年5月東京定期演奏会はワーグナーの《ラインの黄金》を!

15 2018年6月に首席指揮者延長を発表。同時にヨーロッパ公演も発表になりました!

16 2018年6月東京定期演奏会終演後に、アフター懇談会を開催。たくさんのお客様に囲まれています

17 マエストロ・ラザレフが定期演奏会に!

18 2019年4月は13年ぶりのヨーロッパ公演!フィンランドは初上陸。外交関係樹立100周年の記念公演となりました。それから、ウィーン、ドイツ、イギリスと全10か所をめぐりました。

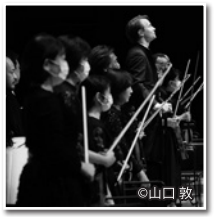
▲4/8ウィーン公演よりソリストのシェク・カネー＝メイソンと

◀4/2ヘルシンキ公演より

19 2019年6月にはフィンランド大使館で行われた「P.インキネン、P.クーシスト、日本フィルと共に日本・フィンランド外交関係樹立 100 周年を祝うレセプション」にお招きいただき参加。ソロ・コンサートマスターの木野雅之とペッカ・クーシストさんとのスリーショット

20 2019年10月ベートーヴェン・ツィクルスがスタート!

21 2021年11月、新型コロナウイルスの影響で来日できていなかったインキネンさんが、2年ぶりに登場!ソリストを務めた扇谷泰朋＆コンサートマスターを務めた田野倉雅秋と



22 客席との間には広いスペースが必要でしたが、心はひとつに。

23 2022年、ストップしてしまっていたベートーヴェン・ツィクルスが再開!

Playback プレイバック

2月～3月の公演を振り返ります

PHOTO 1 2月1日はとっておきアフタヌーン最終回！バックステージで上野耕平さん、啼鵬さん（編曲）、広上淳一さん、高橋克典さんをパシャリ。次回からは「にじクラ～笑顔とトークと、音楽と～」と改め、皆様に心が元気になる音楽をお届けします。

PHOTO 2 九州公演2023は2月11日～23日まで開催。九州へ飛び立つ日の東京のお天気が嵐のようで心配しましたが、無事にツアーをスタート。北九州・熊本公演は佐藤晴真さん、大分・宮崎・鹿児島・福岡*・大牟田・佐賀公演は小林愛実さん、長崎・唐津公演は山口修さんとご一緒しました。完売公演も出るなど、盛況のうちに終えることができました。

PHOTO 3 日本フィルと大牟田市の推進提携に基づく室内楽を菅原病院内「てとてのたまご」で行いました。施設内保育園の小さいお友だちは、楽器に目が釘づけ！元気に手拍子！どうぞ音楽を好きになってくださいね。

PHOTO 4 3月東京定期演奏会。春季シーズンの始まりです。リストのピアノ協奏曲第1番とベートーヴェンの交響曲第3番をお届けしました。美しいピアノの音色を聴かせてくれた金子三勇士さん、熱演を繰り広げた小林マエストロのこの公演は、現在アーカイブ配信中！*

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

全国各地で演奏活動を行っている日本フィル
今回は山口県宇部市での取り組みについてご紹介します。

山口県宇部市では、UBE株式会社、宇部市・宇部市教育委員会、そして日本フィルによる共同参画事業を2008年より継続してきました。クラシック・コンサートを軸に、エデュケーション・プログラム、リージョナル・アクティビティが結実した、日本フィルの「三本の柱」が集約された取り組みです。

第15回UBEクラシック・コンサートが2022年10月9日に開催され、ホールでのコンサート以外に以下の交流プログラムを行いました。

ふれあいコンサート　for 病院患者さん

※2020年からは感染防止対策として演奏を収録しています。

楽団員のトークを交えながら、クラシックや映画音楽のゆったりとした心地良い音色のプログラムをお届けしました。まるで自分が最前列にいる気分でDVD鑑賞を楽しめます。

▲収録時の様子

▲DVDでお届け

音楽クリニック（楽器指導）　for 中学生

※2020年からは感染防止対策としてリモートクリニックを開催しています。

基礎練習を中心に丁寧に指導しました。自分の苦手な部分に気付いたり、効率的な練習方法を身に着けるなど、子どもたちにはたくさんの発見があったようです。ぜひ今後に活かして、楽しく演奏を続けてくれることを願っています。

▲パソコン越しでも、とても楽しそう

▲小さな画面を駆使しながら……！

～皆さんと直接お会いできる日を楽しみにしています！～

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

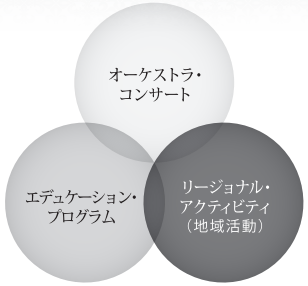
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

特別会員　株式会社T&Aマネジメント 代表取締役　長田 忠千代
株式会社ファミーユ 代表取締役　新庄 眞帆子

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所 TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長COO 中野祥三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
DM三井製糖株式会社
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
株式会社ファミーユ　代表取締役　新庄眞帆子

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役会長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦

株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社LEOC　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
株式会社レゾナック・ガスプロダクツ
代表取締役社長　平倉　一夫
株式会社レゾナック・ホールディングス
代表取締役会長　森川　宏平
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2023年4月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安西祐一郎　東京都
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
植村　昭三　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大上二三雄　東京都
大久保　昇　神奈川県
大熊美結紀　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県

太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多芚久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都

胡口　靖夫　東京都
児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
須賀　克敏　神奈川県
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
高井　延幸　神奈川県
高木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
高田　信子　東京都
高橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都

田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗 年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
濱田　尚人　東京都

林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都

山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
M.K.

匿名57名

（2023年3月20日現在
50音順・敬称略）

日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名

青木　孝
青木　隆
赤星　弥生
荒井　隆志
有田　正治
石田　尚身
石田　英雄
伊藤　正明
岩崎　貞明
海野　尚久
大塚　宏二
小田倉　正
柏崎　和枝
加藤　明
金本　順子
神谷　薫
萱場　基
岸田　正博
北宮千恵子
木村　繁
倉田　茂
蔵貫　義朗
小島　鈴枝

斎木　典子
坂本　博志
相良　幸男
佐々木忠義
佐藤　雅道
佐藤　安雄
澤口佳乃子
清水　浩憲
下山　泰彦
菅原　章文
鈴木　重澄
鈴木　重行
鈴木　富美
住江　慶子
隅田　真
高津　正徳
武井　新
武田　幸子
多田　栄一
田中　諄
坪井　憲治
東保裕の介
富澤　裕

富田　節子
永井　福枝
長沢　光子
永田　康
中山　泰子
野田　孝
野中　和行
羽生　賢次
早川征一郎
深沢　茂実
藤井　行雄
藤川　寿彦
藤村　文二
古川　武志
古瀬　明弘
本堂　毅
前島　景子
増田　文彦
松井　務
皆川　文弘
三好　敦生
民放労連関東地方連合会
山下　芳広

渡辺　勝次
渡辺　政則

（2023年3月3日現在
五十音順・敬称略）

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック　https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

11月5日　芸劇シリーズ　指揮:小林 研一郎
ドヴォルジャーク：交響曲第8番、第9番《新世界より》

11月12日　さいたま定期　指揮:沼尻 竜典 ヴァイオリン:服部 百音
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲　ブラームス：交響曲第4番

11月18日　東京定期演奏会　指揮・オーボエ:フランソワ・ルルー
ドヴォルジャーク：管楽セレナーデ*　ドヴォルジャーク：《伝説》より第1曲、第8曲、第3曲
モーツァルト：オーボエ協奏曲*　ビゼー：交響曲第1番　*吹き振り

12月22日　第九特別演奏会2022
指揮:小林 研一郎 ソプラノ:小川 栞奈 アルト:山下 牧子 テノール:錦織 健 バリトン:大沼 徹
合唱:東京音楽大学 オルガン:石丸 由佳
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》他

12月27日　第九特別演奏会2022
指揮:小林 研一郎 ソプラノ:市原 愛 アルト:山下 牧子 テノール:笛田 博昭 バリトン:青山 貴
合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団 オルガン:石丸 由佳
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》他

1月20日　東京定期演奏会　指揮:カーチュン・ウォン
伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ　バルトーク：管弦楽のための協奏曲

1月29日　芸劇シリーズ　指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小菅 優
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番、交響曲第2番

2月18日　九州公演（福岡）　指揮:広上 淳一 ピアノ:小林 愛実
ショパン：ピアノ協奏曲第1番　ベートーヴェン：交響曲第7番

3月3日　東京定期演奏会　指揮:小林 研一郎 ピアノ:金子 三勇士
リスト：ピアノ協奏曲第1番　ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

3月11日　横浜定期演奏会　指揮:藤岡 幸夫 サクソフォン:須川 展也
菅野祐悟：サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》　チャイコフスキー：交響曲第4番

3月18日　芸劇シリーズ　指揮:鈴木 織衛 出演:SUPER BRASS STARS 他
だったん人の踊り、宝島 他

3月25日　さいたま定期　指揮:小林 研一郎 ヴァイオリン:神尾 真由子
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲　ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲《展覧会の絵》

4月22日　横浜定期演奏会　指揮:原田 慶太楼 チェロ:ジョヴァンニ・ソッリマ
ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲　吉松隆：交響曲第6番《鳥と天使たち》

4月29日　東京定期演奏会
指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:ヨハンナ・ルサネン バリトン:ヴィッレ・ルサネン
男声合唱:ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学
シベリウス：《クレルヴォ交響曲》

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

第750回

サントリーホール

2023年5月12日(金)19:00開演
13日(土)14:00開演

次期首席指揮者カーチュンとの
世界各地の音楽的アイデンティティを探る旅

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

指揮者が語る次回東京定期演奏会

カーチュン・ウォン編

5月の定期演奏会では非常に挑戦的かつ音楽的にも充実したプログラムをお届けします。
プログラムに含まれる3つの作品はいずれも過去100年以内に書かれたものです。

演奏会前半では単一楽章で構成されている2作品をお届けします。
1940年にシカゴ交響楽団の創立50周年を記念して委嘱されたニコライ・ミャスコフスキーの交響曲第21番は彼の全27曲の交響曲の中で最も演奏されている作品の一つです。チャイコフスキーやプロコフィエフを思わせるような美しく哀愁を帯びたパッセージをお聴きいただくことができます。

また、芥川也寸志によるチェロとオーケストラのための「コンチェルト・オスティナート」(1969年)を演奏します。チェンバロが多く使われており、シャコンヌやパッサカリアなど、様々な形のオスティナートを用いたバロック時代の音楽との繋がりを感じることができます。一昨年、兵庫芸術文化センター管弦楽団と共にドヴォルジャークの協奏曲をご一緒させて頂いたチェロの佐藤晴真さんとの再会が楽しみです。

プログラム後半はヤナーチェクのシンフォニエッタ(1926年)をお届けします。
2009年に発表された村上春樹氏による『1Q84』冒頭では主人公が同曲を聴く描写があり、その後も作品に繰り返し登場することで一躍有名曲となった作品です。私自身が著者とこの『1Q84』の大ファンであるため、ストーリー設定と同じように《三軒茶屋》の近くで車に乗っているときはいつもシンフォニエッタの冒頭のファンファーレを流しながら、《首都高速道路に設置されている緊急避難用の階段》を探してしまいます。(大ファンと言うレベルを遥かに超えてしまっているかもしれませんね)
第1楽章と最終楽章でこのファンファーレを奏でる金管楽器群にも是非ご注目下さい。

定期演奏会へのご来場を心よりお待ち申し上げております。

カーチュン・ウォン

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

■ 6月公演出演者及びプログラム変更のお知らせ

2023年6月3日(土)第388 回横浜定期演奏会、並びに6月9日(金)10日(土)第751回東京定期演奏会に出演予定でした桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフの招聘は断念することとなりました。内容を変更して開催いたします。

第388回 横浜定期演奏

2023年6月3日(土)17:00開演
横浜みなとみらいホール

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
ピアノ:小山 実稚恵

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番
シューマン:交響曲第4番

第751回東京定期演奏会

2023年6月9日(金)19:00開演/10日(土)14:00開演
サントリーホール

指揮:大植 英次　ピアノ:阪田 知樹

ワーグナー:楽劇《トリスタンとイゾルデ》より「前奏曲と愛の死」
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》

■ 退団のお知らせ

トロンボーンの岸良開城は2023年3月31日付で退団いたしました。1988年4月に研究員として入団しトロンボーン・セクションの要として活躍してまいりました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54〜23:00(第3週、第4週は再放送)。4月からは広上淳一マエストロも登場!

■ 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のままで撮影をお願いいたします。
フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

■ 好評発売中

- 2022/2023 春季東京定期演奏会 1回券
- 2022/2023 春季横浜定期演奏会 1回券

第400回名曲コンサート

2023年5月21日(日)14:00開演
サントリーホール

指揮:ピエタリ・インキネン[首席指揮者]
ソプラノ:森谷 真理　アルト:池田 香織
テノール:宮里 直樹　バリトン:大西 宇宙
合唱:東京音楽大学

【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】
シベリウス:交響詩《タピオラ》
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

夏休みコンサート2023

今年もバレエかピアノか選べる第2部!
7月15日〜8月6日首都圏で開催。
詳しくは挟み込みのチラシをご覧ください。

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は奥田佳道氏の登場です。**土曜日13:20〜**

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

3月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)匿名8名

ご寄付の方法　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日11 時〜17 時)　FAX:03-5378-6161(24時間)　E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	ピエタリ・インキネン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	首席客演指揮者	カーチュン・ウォン
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ		

ソロ・コンサートマスター:扇谷 泰朋
ソロ・コンサートマスター:木野 雅之
ソロ・コンサートマスター:田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター:千葉 清加
第1ヴァイオリン:伊藤 太郎　太田 麻衣　九鬼 明子　齋藤 政和　榊 渚　竹歳 夏鈴　谷﨑 大起　田村 昭博　中谷 郁子　西村 優子　平井 幸子　本田 純一
第2ヴァイオリン:遠藤 直子　大貫 聖子　岡田 紗弓　加藤 祐一　神尾あずさ○　川口 貴　佐藤駿一郎　末廣 紗弓　豊田 早織　町田 匡　山田 千秋
ヴィオラ:安達 真理☆　小俣 由佳　小中澤基道　児仁井かおり　高橋 智史　中川裕美子　中溝とも子　松澤 稚奈
ソロ・チェロ:菊地 知也
チェロ:石崎 美雨　伊堂寺 聡　江原 望　大澤 哲弥　久保 公人　山田 智樹
コントラバス:鈴村 優介　髙山 智仁◎　成澤 美紀　宮坂 典幸○　森田麻友美□　山口 雅之
フルート:齋藤 光晴　難波 薫　真鍋 恵子◎
オーボエ:佐竹 真登　杉原由希子◎　松岡 裕雅○
クラリネット:伊藤 寛隆◎　楠木 慶○　照沼 夢輝　堂面 宏起
ファゴット:大内 秀介　鈴木 一志◎　田吉佑久子○　中川日出鷹
ホルン:伊藤 舜　宇田 紀夫　信末 碩才◎　原川翔太郎　丸山 勉☆　村中 美菜
ソロ・トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット:大西 敏幸◎　中里 州宏　中務 朋子　星野 究
トロンボーン:伊藤 雄太◎
バス・トロンボーン:中根 幹太
テューバ:柳生 和大
ティンパニ:エリック・パケラ◎
パーカッション:大河原 渉
ハープ:松井 久子

楽団長:中根 幹太
チーフステージマネージャー:阿部 紋子
ステージスタッフ:長橋 健太　森田 大翔
チーフインスペクター:佐藤駿一郎
インスペクター:宇田 紀夫　鈴村 優介
ライブラリアン:鬼頭さやか　杉本 哲也

◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

理事長(代表理事):平井 俊邦
副理事長(代表理事):五味 康昌
常務理事(代表理事):後藤 朋俊
常務理事(代表理事):中根 幹太
常務理事(代表理事):福井 英次
理事:石井啓一郎／遠藤 滋　佐々木経世／田村 浩章　戸所 邦弘／福本ともみ
監事:上條 貞夫／福澤 宏哉
評議員会会長:加藤 丈夫
評議員:青井 浩／安孫子 正　荒蒔康一郎／石塚 邦雄　石村 等／稲垣 尚　内川 清雄／大塚 宣夫　海堀 周造／梶浦 卓一　河北 博文／喜多 崇介　木村 惠司／久保田 隆　小林研一郎／島田 精一　津田 義久／西澤 豊　野間 省伸／葉田 順治　村上典史子／山口多賀幸
名誉顧問:熊谷 直彦
名誉顧問:島田 晴雄
名誉顧問:田邊 稔
アドバイザリー・ボード:大島 剛／小野 敏夫　小網 忠明／後藤 茂　武田 隆男／田邊 稔　溝口 文雄
コミュニケーション・ディレクター:マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ:淺見 浩司／磯部 一史　江原 陽子／及川ひろか　小川紗智子／荻島 里帆　賀澤 美和／柏熊由紀子　小須田 萌／佐々木文雄　澤田 智夫／篠崎めぐみ　清水佑香子／杉山 綾子　杉山まどか／高橋 勇人　田中 正彦／槌谷 祐子　中村沙緒里／西田 大輔　長谷川珠子／藤田 千明　別府 一樹／益滿 行裕　宗澤 晶子／山岸 淳子　吉岡 浩子
シニア・パートナー:新井 康允／伊波 睦　永島 義郎／南部 洋一

団友:
青柳 哲夫／青山 均／赤堀 泰江
新井 豊治／石井啓一郎／伊藤 恒男
伊波 睦／遠藤 功／遠藤 剛史
大石 修／大川内 弘／大味 修
筧 美知子／金本 順子／蒲谷 隆行
川口 和宏／菊田 秋一／岸良 開城
吉川 利幸／木村 正伸／小林 俊夫
小山 清／斎藤 千種／佐々木裕司
佐藤 玲子／菅原 光／髙木 裕子
髙木 雄司／高木 洋／高倉 理実
田沢 烈／立川 和男／堂阪 俊子
富樫 尚代／豊田 尚生／中川 二朗
永田 健一／中務 幸彦／奈切 敏郎
橋本 洋／畑井紀代子／平賀 法子
福島 喜裕／松本 克巳／松本 伸二
三本 克郎／宮武 良平／三好 明子
森 茂／山下 進三／山科 淑子
山本 辰夫／渡辺 哲雄

(2023年4月1日現在)

チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911(通常:平日10時～17時／現在:平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
FAX.03-5378-6161(24時間)
E-MAIL : order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5
「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!